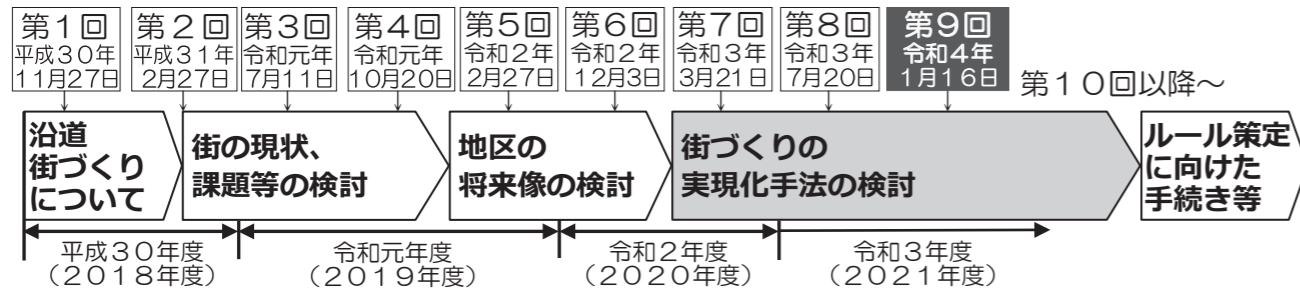


『補助26号線沿道地区街づくり懇談会』の進め方イメージ



街づくり懇談会における新型コロナウイルス感染症の感染防止策について

●会場内での感染防止策

- ① 室内の換気、マイクや筆記用具等物品の消毒の徹底
- ② 職員の手指の消毒及びマスク着用
- ③ 座席の間隔の確保
- ④ 会場の利用人数の制限



●ご参加予定の皆様へのお願い

- ① 体調のすぐれない方、ウイルス感染の可能性のある方はご来場をお控えください。
- ② ご来場時のマスク着用、筆記用具の持参にご協力をお願いします。
- ③ 会場入室時の手指の消毒、検温にご協力をお願いします。



●ご参加を見合わせる方へ

「街づくり懇談会」の配布資料は、街づくり懇談会開催後に世田谷区及び目黒区のホームページに掲載します。これまでの街づくり懇談会の資料等もご覧いただけます。

補助26号線 街づくり

また、資料等は世田谷区北沢総合支所街づくり課及び目黒区役所都市整備課の窓口でもお渡ししています。街づくりに関するご意見等については、以下の『お申し込み・お問い合わせ先』までご連絡ください。

皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願いたします。

●万一、街づくり懇談会を開催できない場合について

区ホームページに掲載の上、お申し込みされた方には直接電話でご連絡いたします。なお、「第9回街づくり懇談会」の開催日程等につきましては、改めて「街づくりニュース」でお知らせします。

※新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）について

厚生労働省は、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を提供しています。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



『お申し込み・お問い合わせ先』

世田谷区 北沢総合支所街づくり課	担当：及川、岡崎、長岡
	住所：〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18（11階） 電話：03-5478-8073 FAX：03-5478-8019
目黒区 都市整備部都市整備課	担当：田島、日下、渡部
	住所：〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15（6階） 電話：03-5722-6846 FAX：03-5722-9239

補助26号線 沿道地区

令和3年12月

発行：世田谷区北沢総合支所街づくり課
目黒区都市整備部都市整備課

街づくりニュース 第10号

日頃から、世田谷区及び目黒区の街づくり事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。両区では、東京都による都市計画道路幹線街路補助線街路第26号線（以下「補助26号線」といいます。）の都市計画事業に合わせて、平成30年度から沿道にお住まいの方々等と街づくりの将来像を考える「補助26号線沿道地区街づくり懇談会」（以下「街づくり懇談会」といいます。）を開催しています。

この度、「第9回街づくり懇談会」を開催いたしますので、是非ご参加ください。ご不明な点等ございましたら、4ページ『お申し込み・お問い合わせ先』までご連絡ください。

街づくり懇談会における新型コロナウイルス感染症の感染防止策は、4ページの通り実施いたします。

第9回 補助26号線沿道地区街づくり懇談会を開催します。

■日時 令和4年1月16日(日)
10:00~12:00 (開場9:30)

【事前申し込み】を
お願いいたします。

■会場：北沢タウンホール2階 第1・第2集会室
(世田谷区北沢2-8-18)



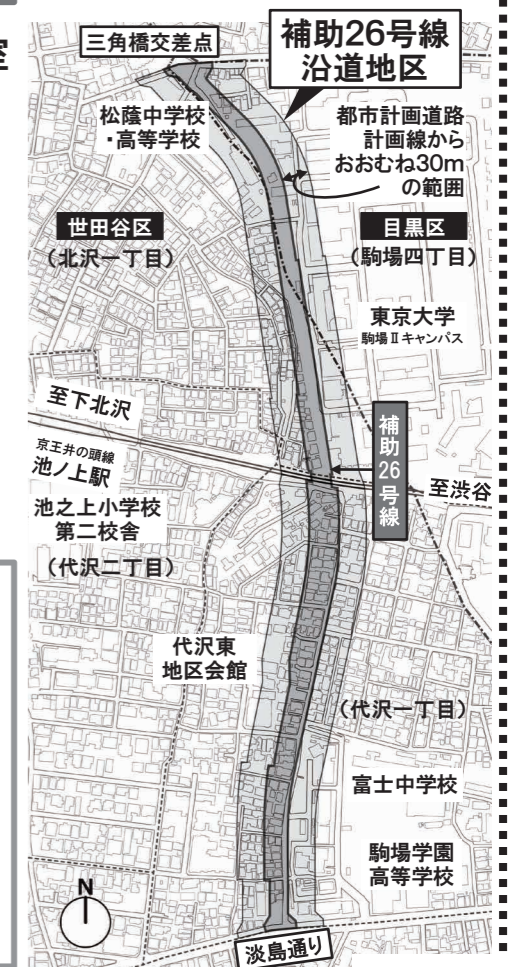
■内容：「沿道の将来イメージ」の実現化手法（地区計画、用途地域等）についての意見交換

■事前申し込み

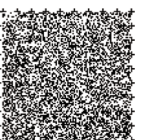
街づくり懇談会への参加をご希望の方は、電話又はFAXにて、4ページに記載する『お申し込み・お問い合わせ先』まで、事前にお申し込みをお願いします。FAXの場合、「氏名」、「住所」、「連絡先」をご記入の上、お送りください。

■受付期間

令和4年1月4日(火)～1月13日(木)
午前8時30分～午後5時15分(土日・祝日を除く)



この「街づくりニュース」は、「補助26号線沿道地区」（三角橋交差点～淡島通りの区間で、都市計画道路計画線からおおむね30mの範囲）にお住まいの方と土地や建物を所有する方のほか、個別にご希望いただいた方に配布・郵送しています。



第8回 補助26号線沿道地区 街づくり懇談会の開催概要

【日時】令和3年7月20日（火）18:00~20:00

【会場】北沢タウンホール2階ホール【参加者】32人

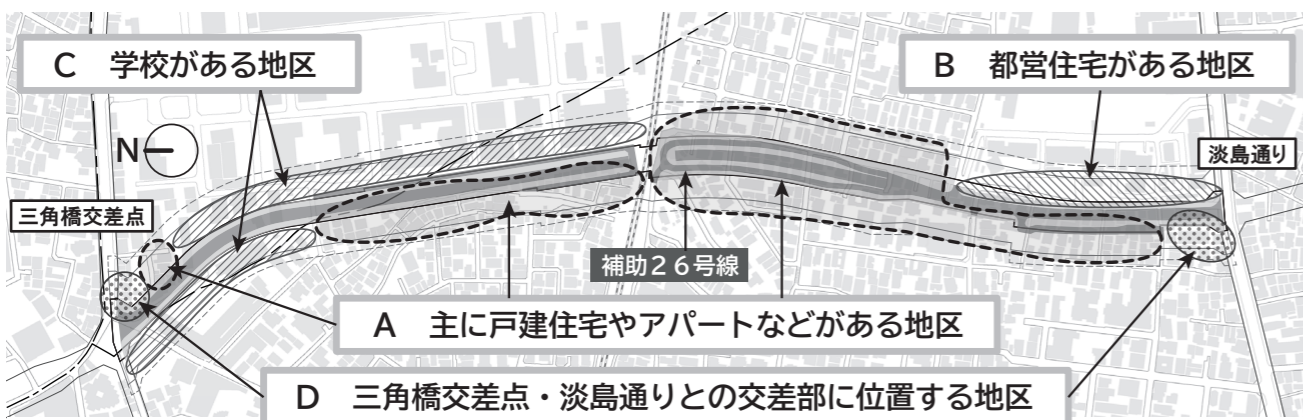
【当日の次第】

●第7回街づくり懇談会の振り返り

●意見交換

「沿道の地区ごとの具体的な将来イメージ（建物の用途、高さ）」をテーマとして、「どの地区を」「どのようにしたいか」「なぜそう思うか」という形式で「ふせん」にご記入いただき、意見交換を行いました。

【土地利用の現況等をもとに沿道地区を区分した4つの「地区」】



意見交換における主なご意見・ご質問（要旨）

1. 建物の用途について

A 主に戸建住宅やアパートなどがある地区

- ・高齢化に備え、コンビニができるとうい。
- ・人の目が集まり治安が安定するよう、ミニスーパーやドラッグストア等が立地すると良い。
- ・都心に近く、広い道路に接するエリアは、希少なため、ミニスーパー、ドラッグストア、スーパーマーケットを建築可能にしてほしい。
- ・子育て世帯の人たちが気軽に立ち寄れるようなパン屋や喫茶店などを三角橋交差点側に増やしてほしい。
- ・喫茶店、カフェ、飲食店、ファミリーレストランを建築可能にしてほしい。
- ・会計検査院跡地について、代沢1丁目に不足している防災備品の倉庫、図書コーナー、住民の交流スペース等の施設があるとよい。
- ・閑静な住宅地としての魅力を残すために、現状を維持するべきである。
- ・日用品店は、淡島通りにたくさんあるため、必要ない。
- ・うるさくなってしまうため、一軒家の大きさ以上になる飲食店はほしくない。

- ・大規模な病院があると地域が荒ただしくなる。また、トランクルームがあると治安が悪くなると想定される。作らないでほしい。
- ・ワンルームマンションが建つと、ごみが散乱することが想定されるため、望ましくない。

B 都営住宅がある地区

- ・三宿地区とは違う雰囲気を保ってほしいため、大規模店舗は不要。小規模店舗があると良い。
- ・お年寄りにとって池尻まで行くのは坂がきついため、スーパーマーケットは是非ほしい。
- ・周辺の住民との交流が減っているため、地域の人に関われるような施設がほしい。
- ・開放感のある貴重な空間であり、緑の多さに関しても重要度が高い。現状を維持してほしい。

C 学校がある地区

- ・学生が街に出やすくなるよう、ミニスーパーやドラッグストアがあると良い。
- ・道端での立ち話を避けるため、子ども連れでも入れるカフェができるとうい。
- ・大学敷地にある貴重な樹木は維持してほしい。現状のままを望む。

D 三角橋交差点・淡島通りとの交差点に位置する地区

- ・利便性向上のため、日用品店舗があると良い。

- ・人が多く、にぎわいのある道の方が活性化して見えるため、人の出入りがある喫茶店やカフェがあると良い。
- ・通学路の見通しが良い方が安全なため、低い建物の中にギャラリー等ができるとうい。
- ・駒場東大前駅、池ノ上駅から遠いため、レンタルサイクルポート等をつくってほしい。
- ・現状のままが良い。

2. 建物の高さについて

A 主に戸建住宅やアパートなどがある地区

- ・日照の問題にも配慮して、高さ12m程度の建物がほしい。
- ・若手住民を増やし、街の活性化を進めるため、高さ15~16mまで建てられるとうい。
- ・幅員の広い道路沿いでは、威圧感がないため、高さ16m程度の建物ができるとうい。
- ・道路整備に用地を提供して狭くなった敷地で、自宅を建て替える必要があるため、少しでも高く建てられるようにしてほしい。
- ・高さ制限が緩和されると、標高が低い西側の後背地は日照や圧迫感の面で住環境が悪化するため、高さは10mのままが良い。
- ・歩いていて威圧感のない今の高さが良い。
- ・マンションを建てても家賃が高い建物しかできず、若い人が入居しないため、建物の高さは現在のままがよい。
- ・住宅街として統一感を保つため、建物は低い方がよい。

B 都営住宅がある地区

- ・これ以上の高度化は日照や圧迫感を考えると望ましくない。現状のままとしてほしい。
- ・25mは威圧感があるため、現状のままがよい。

C 学校がある地区

- ・東京大学先端科学技術研究センターに統一して、他も高くしてほしい。
- ・高層の建物が美観を損ねているため、これ以上建てほしくない。現状を維持してほしい。
- ・高い建物によって日照が制限されないか心配であるため、高い建物は避けてほしい。

D 三角橋交差点・淡島通りとの交差点に位置する地区

- ・現状の維持もしくはそれ以下にしてほしい。
- ・高層の建物は避け、空が広く見えるくらいの高さにしてほしい。

3. その他

- ・主に戸建住宅やアパートなどがある地区には、子どもの遊び場である公園がほしい。
- ・学校がある地区について、空間が遮られないよう、大学のキャンパスの解放感を生かした地区計画にしてほしい。
- ・用途地域の緩和について、あまり極端な変更は望まないが変更してほしい。
- ・並んで子どもの手を引く親子が多いため、広めの歩道に自転車レーンを作してほしい。
- ・救急車、消防車が道路を通れるようにしてほしい。

意見をご記入いただいたふせんは、「意見交換ボード」に貼り出して整理しました。



アンケートの主なご意見（要旨）

- ・意見交換をオンラインで行ってほしい。
- ・平日夜の開催だと、出席者が限られてしまう。
- ・もっと懇談会の存在を宣伝する必要がある。
- ・結論ありきで進めないでください。
- ・進行の時間のバランスがいまひとつだった。
- ・対立意見が出て、活発な意見交換ができた。
- ・用途地域変更を速やかに進めて下さい。
- ・夜、池ノ上駅から代沢1丁目へ行くのは暗く怖いので、解決してほしい。
- ・側道が狭いため解決してほしい。
- ・立体交差点に作られる擁壁の圧迫感が心配。
- ・自動車の流れがどのように変化するか知りたい。
- ・補助26号線の検討状況を都に伝えていただけるとありがたい。

街づくりアドバイザー
寺内 義典 教授（国士舘大学）
にもご参加いただきました。

